

バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）に関するお知らせ

近年、薬剤耐性菌であるバンコマイシン耐性腸球菌（VRE）が全国的に検出されており、大分県内でも増加傾向がみられます。当院においても、2023 年以降、散発的な感染症事例が確認されてまいりました。感染拡大の早期発見と院内の安全確保を目的として、行政からの感染対策支援を受けつつ 2025 年 12 月 1 日より病院全体でのスクリーニング調査を実施しました。

その結果、被験者 151 名中 10 名（約 6.6%）の新規保菌者を確認いたしました。調査にご協力いただきました患者様およびご家族の皆様に深く感謝申し上げます。

当院は患者様の安全を最優先とし、以下の対策を継続・強化してまいります。

- **感染対策の徹底**：手指衛生の徹底、環境清掃の強化、必要に応じた個室管理および標準予防策の徹底を行います。
- **継続的なモニタリング**：定期的なスクリーニングと感染状況の把握を継続します。
- **職員教育の強化**：感染対策に関する職員研修を定期的実施し、対応能力の向上を図ります。
- **情報共有と連携**：近隣医療機関と緊密に連携し、終息に向けた体制を整備します。

今後も感染拡大防止の観点から、VRE 保菌リスクが高いと判断される患者様におかれましては入院する際に、あるいは入院中の患者様におきましても継続してスクリーニング調査を実施させていただく場合がございます。必要な対策を着実に実施してまいりますので、患者様・ご家族の皆様には引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2025 年 12 月 11 日
大分市医師会立アルメイダ病院
院長 白鳥敏夫